

## 2-05 リガーとオールロック

## 1 リガー

●オールの支点となるオールロックを支えるために、ガンネル（舷側）から外に突き出したフレームを、アウトリガーまたは単にリガーといいます。金属製のパイプや新素材を用いたもの、さまざまな形があります。

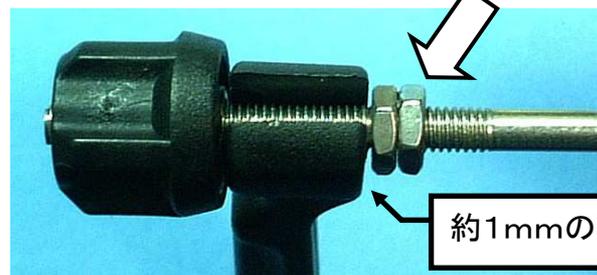
●リガーのうち、オールロックの上部をささえる部品を、バックステイとかトップステイといいます。バックステイは、オールロックの角度を調整する部品ではなく、設定された角度を保持するための補強部品です。先にオールロックを正確に組みつけて固定し、その後で、バックステイの長さを調整してとりつけます。調整するための部品がついています。ターンバックルといって右ネジと左ネジ（逆ネジ）を持つタイプは、緩める方向に注意しながら両方のロックナットを緩め、中間の部分をまわして調整します。片方だけを回転させてはいけません。そのボートの構造に合わせ正しく使いましょう。リテイン・リングという部品で調整するものもあります。

●ナックルフォアやつきフォアなどでは、艇をリガーで持ち上げたり支えたりしてはいけません。シングルスカルなどはリガーの根元を持ってよいでしょう。リガーが、地面や他の艇に接触しないよう、艇を裏返すときや艇庫内では十分に注意しましょう。また乗艇後はよく洗って拭いておきましょう。

## 3 オールロック、オアロック

●オールロック（オアロック）は、ロウロックとかクラッチともいいます。リガーの先端に取り付け、オールを支える重要部品です。オールロックには、その固有のピッチを調整するため、「ブッシュ」を選んで挿入します。基本的には、 $5^{\circ}$  か  $6^{\circ}$  がついていれば良いでしょう。

●オールロックのゲートには小さなナイロンナットまたはダブルナットがついています。これはゲートの締めすぎを防ぐもので、適切な位置にないと、オールロックの内径が小さくなりすぎ、シャフトの回転に支障をきたすので、正しい位置（約1mm程度、隙間を空けた位置）で固定します。



## 4 オールロックの台座

●オールロックを支える台座は、オールロック回転軸の、前傾と外傾、高さ、リガースプレッド（またはスパン）などを調整する機能があります。リガーとの組合せで、さまざまなタイプがあります。